

生徒会会報

十一月号
編集者

斎藤
河野

生徒会選挙



感染症が流行する中、リモートでの生徒会選挙が終わりました。学級閉鎖が相次いだことで、Youtubeで選挙の映像も公開されました。

投票が後日となる異例の生徒会選挙となりましたが、公平に投票することができるよう、措置を行い実施されました。

副会長のみ決選投票を、その他の役職は信任投票を行いました。

新生徒会は三学期から本格始動です。生徒会報の編集者も交代となります。新しい生徒会報をお楽しみに！

そして、**新生徒会への応援**もよろしくお願いします！

生徒会活動

市原市が主催するSDGsアワードという企画に生徒会副会長・岩田さんが審査員として参加しました。

SDGsの達成に向けた取り組みをしている企業や、団体を四つの観点から審査し、表彰するものです。この活動を通して市原市は「SDGs未来都市」の選定を目指しています。

岩田さんが参加した感想として「この活動を通して、自分が未来のために何ができるか考えるきっかけになりました。また、普段関わることのない方々と仕事をする機会に、貴重な役割を務められて良かったです」と言っていました。皆さんも地域や環境のために何ができるか考えてみましょう。

SDGsアワードの様子



また、十一月九日に五井のまちなか文化祭にてウォーカブル（居心地が良く歩きたくなるまちなか）の実証実験を五井駅前のもり大通りにて行い生徒会役員が参加しました。

この活動は、市原市更級通りをシンボルロードとして位置付け、ウォーカブルな空間とするために行われている取り組みです。

今回の文化祭は第三回の文化祭で、過去二回と比較しても多くの方が更級通りを歩いて頂きました。

ワークショップを重ねながら、参加者に楽しんでいただけるように参加者全員で協力しました。